


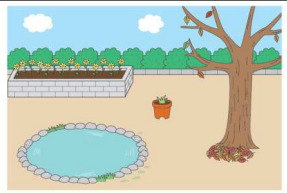
3歳児クラス 4月 第2回 「ぼく、だんごむし」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 特に印象づけたい部分は、声のトーンを変えたり、子どもたちに伝わりやすいことばで表現するなどの工夫をする。 ※ページによっては少し難しい内容が含まれているので、理解度に応じて省略して良い(特にP6~8、P12、P16~21は省略可) 	教材	
	導入	<ul style="list-style-type: none"> ダンゴ虫のペーパーサートを背中に隠し持って講師登場「今日花壇のお花にお水あげてたらいいものを見つけちゃった」とダンゴ虫提示。「みんな知ってる」と問いかけ。「ダンゴムシ」の名前を伝える 「触ってみて」と誘い掛け、瞬間くるっとひっくり返して丸まったダンゴ虫に変化させる。その習性の面白さに興味を持たせてからお話を始める。 	
			保育士の役割

がくしゅうタイム

活動①	記憶	お話に出てきたダンゴ虫のいそうな場所を思い出してダンゴ虫シールを貼ることができる	
設問	ダンゴムシはどこにすんでいましたか？ダンゴムシが好きな場所を思い出してその場所にシールを貼りましょう。		
準備	<ul style="list-style-type: none"> 講：「ダンゴ虫さん石とか食べちゃうのすごいねー」 保：お話し博士から今日もお届け物が届いてますよ」とプリントの入った封筒を渡す 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「なに？」封筒の中を覗き「今日も博士からクイズが届いたよ！クイズ挑戦してみる？」と前回同様に誘いかける。 保：「面白そうだね。今日もチャレンジしてみようよ」等と子どもの気持ちを高める。 講：「挑戦したい人ー！」と元気よく拳手をさせ、プリント、クレヨンを配布。 講：「わー！たくさんのダンゴ虫」とシールとプリントを提示。「なにになに…『ダンゴ虫の好きな場所を思い出して返してあげてください』だって」と博士からの課題を伝える。 講：ダンゴ虫の好きな場所を確認。プリントに貼っていく。 ※絵本や映像を使って再度確認しても良い。貼り場所の例：花壇のブロック際、池の石横、池の中(少しなら水の中も大丈夫)、植木鉢の下、木の根元落ち葉の下等。複数枚あるので「仲間と一緒に好きなんだよね」と仲良く貼っていくのも良い。 		P1 P1用ダンゴ虫シール 一人8枚 ※前回同様提示プリントできれば大きな封筒などに入れて準備できると良い
	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちにシールを配布。「かわいいね」など興味、関心を高めさせてからプリントを配布。シールを貼らせていく。 正しい場所に貼れることがねらいですが、子どもなりのストーリーがあれば貼り直さず見守る。 全員貼り終えたところで「ダンゴ虫さんお家に帰れて良かったね。みんなもまたお外で見つけてみようね！」と賞賛。「またねーばいばい」とプリント回収。 		保育士の役割

活動②		ねらい	製作	先生の指示を理解してダンゴ虫を作ることができる	※実物参照
設問	ダンゴムシを作って遊びましょう。				
準備	<ul style="list-style-type: none"> 保「かわいいダンゴ虫作っちゃったー！」と嬉しそうに登場。ダンゴ虫提示 				教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「いいなー！見せて！」 保：「いいよ。どうぞ」と講師に渡す。 講：形や触るとゆらゆら揺れるその面白さを見せる。「いいなー。先生も欲しいなー」 保：「先生も自分で作ったら？」と材料の黒丸台紙と目のシールを渡す。 講：完成したものと比べながら作る見本行動。 <ol style="list-style-type: none"> ①台紙を半分に折り、しっかり折り目をつける ②目のシールを裏表1枚ずつ同じ位置に貼る（貼る位置「はじっこ」と確認して貼っていく） 講：完成したダンゴ虫を樂しげに動かす。「みんなも作りたい人ー」と力強く挙手。意欲を持って活動に参加させる。 材料配布。製作開始。 折り目が大きくずれると立たないので「転んじゃうねー」と言いながら折り直す。 目の位置などは多少のものは貼り直さず見守る。 形ができた子からクレヨンを配布。体の縦模様を描く。（色はこだわらず好きな色で良い。ただし見える色を意識） 出来上がった子から、ダンゴ虫の気持ちになり動かして楽しむ。 ※クラスの人数や状況に応じて机の下にもぐって歩いたり、あらかじめ新聞紙を床に敷いておいてその下にもぐらせたりなど動きのある活動を取り入れても良い 楽しんだら「今日はみんなのお家に連れて行ってあげましょう。それまでここで待っててねー」と場所を決めて回収達成感と期待感を持って終了。 				黒丸台紙 一人一枚 目シール 一人二枚 ★クレヨン ※提示用として台紙を半分に折り、裏表に目を貼り白いクレヨンで縦模様を描いて完成したものを準備する。
					<ul style="list-style-type: none"> 完成したダンゴ虫の提示。 材料を講師に渡す。 教材の配布。 （机から離れた活動の場合）安全への配慮

数子ヤレ		ねらい			教材
設問					
活動内容	※5月よりスタート				保育士の役割

